

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	境、齊藤、星野		
科目名	美容理論（ネイル）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	2
教育目標・ねらい	ネイル技術の基礎をとなる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の習得を目指す				
授業回	学習内容				備 考
1	ジェル検定中級概論 【到達目標】 ジェルネイル検定中級の内容を理解する				
到達目標	爪の構造、ネイル技術の種類、ジェルネイル中級検定に必要な基礎知識が理解できている				
評価方法	期末筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	「美容技術理論1・2」「JNAテクニカルシステム」				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野 唐沢		
科目名	美容理論 (まつ毛エクステンション)	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	4
教育目標・ ねらい	まつ毛エクステンション技術の基礎をとなる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の習得を目指す				
授業回	学習内容			備 考	
1	まつ毛エクステンション概論、グルーについて 【到達目標】まつ毛エクステンションについての正しい知識、接着剤(グルー)を安全に使用するための正しい道具の使い方を理解する				
2	眼の構造、涙のしくみ 【到達目標】目の構造、涙がでる仕組み、カウンセリングの仕方、アフターカウンセリングの必要性を理解する				
到達目標	まつ毛エクステンションの基礎知識(概論、道具の使い方、カウンセリング、アフターケア)理解できている				
評価方法	提出課題及び期末筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない				
テキスト	「美容技術理論1・2」「まつ毛エクステンションテキスト」				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野 唐沢		
科目名	美容理論（日本髪・着付け）	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	4
教育目標・ ねらい	日本髪・着付け技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の習得を目指す				
授業回	学習内容				備 考
1	日本髪について 【到達目標】日本髪の種類やバランスにについて、正しい知識を理解する				
2	着付け概論・用具・帯・小物 【到達目標】着付けについて、着付けに使用する小物について正しい知識を理解する				
3	礼装・着付け時の注意点 【到達目標】礼装について正しい知識と安全に技術を施すための正しい知識を理解する				
到達目標	安全に日本髪及び着付技術を提供するための基礎知識（礼装、用具の使い方など）が理解できている				
評価方法	提出課題及び期末筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	「美容技術理論1・2」				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	村田		
科目名	美容理論（化粧品検定1級）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	化粧品検定2級で学んだ知識を基に、更に美容の知識の幅を広げ、美容への興味関心を深める				
授業回	学習内容				備 考
1	サプリメント 【到達目標】 サプリメントについて学習し理解する				
2	法律 【到達目標】 法律について学習し理解する				
3	安全性 【到達目標】 法律について学習し理解する				
4	化粧品検定1級模擬試験				
5	化粧品検定1級模擬試験				
到達目標	美容や化粧品の知識をより深め、卒業後の美容部員やメイクアップアーティストとしての活躍につなげる 化粧品検定1級合格				
評価方法	出席状況 検定試験				
テキスト	日本化粧品検定1級公式テキスト				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	池田		
科目名	美容美術（造形学）	学 年	2 年	実施時期	前期,後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	デッサンの授業で学んだことを活かし、実践的なメイクワークやネイルアートデザインを創造するなかで、卒業後のキャリアプランを描くことができる。テーマに沿ったメイク、自らの最も好きなテーマのネイルアートに挑戦するといった経験が 卒業後、各職場で即戦力となる				
授業回	学習内容			備 考	
1	ヘアードッサンⅠ-資料の拡大、模写の方法 【到達目標】 ①顔に明暗があり立体感のある、毛髪の流れや顔の表情など魅力を感じる描きやすい資料を選ぶ。②資料の模写の準備、マス割ができる。③線の凹凸、ガイドの線を通る位置、線の濃淡など、1マス1マス確認しながら顔などの輪郭線の模写を進める。全体の2割は描き進める。			B3ケント紙、模写する人物写真：コンペティション用の場合はテーマ「アスリート」、定規、鉛筆、練りゴム	
2	1.ヘアードッサンⅡ 【到達目標】 ①輪郭を描き、一番暗い部分の形を塗る。②顔を中心に毛髪や目、唇等を明暗に気を配り濃淡をつけ描く③ガイド線を消してから陰影をつけ、立体感を出す。④毛髪はガイド線を頼りに一番暗い部分の形を濃淡をつけ描く。全体の4.5割まで進める。			模写する人物写真、定規、鉛筆、練りゴム	
3	1.ヘアードッサンⅢ 【到達目標】 ①毛髪の輪郭、暗部が描けたらガイド線を消し、鉛筆や濃淡をつけてゆく。ねりゴムで明部を描く。②稜線など顔の面の向き（前面と側面）や動きによって、明暗が変化していることを理解する。②①を理解し、明暗の描写で顔や毛髪の立体表現ができる。7.8割まで進める。☒				
4	ヘアードッサンⅣ 【到達目標】 ①ぼやけている箇所は指でぼかしたり、はっきりしている箇所は細部を詳細にさらに描き深める。②背景は特に描きたいものは描き、人物を際立たせるよう人物の輪郭処理に注意する。8.9割まで進める。③全体のバランスに配慮し、濃淡をより洗練させ作品を仕上げる。④長時間デッサンに向き合い、描写と表現行為の中で人間に対する美の感情を深める				
5	円の配置、色彩効果Ⅰ 【到達目標】 規定の円から何かを表現する。各自テーマを決めて円の配置によって動きを、色彩効果によって感情や情景を自由に表現する。配色カードで使う色を計画する。1年次の色彩の基礎を応用し、目的に合わせ色使いをより洗練させる。人物や文字風景など円以外の任意のモチーフを描いても良い。4,5割着色を進める。			A4ケント紙、絵の具一式、定規、水入れ、配色カード	
6	円の配置、色彩効果Ⅱ 【到達目標】 着色を進める中で、色の変化が適切か、退屈な部分にはワンポイントを足すなど完成に向け工夫をし丁寧に仕上げる。作品を見る相手にそれが伝わっているか考え、より美しく良いデザインに改善、刷新する			絵の具一式、定規、水入れ、配色カード	

授業回	学習内容	備考
7	抽象表現-悲しみ、ミュージックなどの単語を抽象的な形や線で表現、鉛筆で描写する 【到達目標】 ①直線と曲線の特性、それらの配置の効果を学ぶ。②作品を見る相手にそれが伝わっているか考える。③より美しく良いデザインに改善、刷新する。	絵の具一式、定規、水入れ、配色カード
8	モノトーンによる構成-「静」と「動」(着色)Ⅰ 【到達目標】 ①前課題の演習をもとに、静か動の内ひとつを選び、モノトーン着色のデザインを考える。例:「動」時間など②一部分、計画的に着色を始める。	A4ケント紙、絵の具一式、定規、水入れ、配色カード
9	モノトーンによる構成-「静」と「動」(着色)Ⅱ 【到達目標】 ①明度の段階は十分であるか、客観性のある表現ができているか、退屈な部分に工夫はできるか、美しい仕上がりとなっているか、に気をつけ制作する。	絵の具一式、定規、水入れ、配色カード
10	モノトーンのデザインを用いたアイメイクの考案 【到達目標】 第7~9回の授業で学んだデザインを活かし、アイメイクを考案できる。目・鼻・口の形を生かし、顔全面を使ってアイメイクのデザインを描く。幾何学模様であったり曲線を美しくくねらしたり自由なものを考案できる。	A4ケント紙、絵の具一式、定規、水入れ、配色カード
到達目標	色彩の理論を生かし、自らの選んだテーマに沿って作品を形づくり、発表することができる。地道な努力で粘り強く取り組み、期待するような色彩、描画を描けるようになる。	
評価方法	作品のデザイン性と完成度、仕上がりで、各課題を100点満点で採点します。課題にかかる時間数や重要度により、ヘアデッサン、円の配置、モノトーン、アイメイクの課題をそれぞれ1.5:1:1:1(予定)で集計し、副課題の加点、提出遅れや居眠り、制作遅れ等の減点を行い100点満点の成績点といたします。合格点は60点です。	
テキスト	プリント	

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野・唐沢		
科目名	美容実習（メイク）	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ ねらい	メイクを学びながら、メイクアップアーティストに必要な心構えや技術習得を目指す				
授業回	学習内容			備 考	
1～13	似合わせ 【到達目標】モデルさんの骨格や各パーツの配置を見極め、モデルに似合うメイクが提供できるようになる				
14～15	前期メイク実技試験（似合わせ） 【到達目標】モデルさんの要望を伺い、骨格や各パーツの配置を見極め、似合うメイクが提供できるようになる				
16～27	コピートレーニング 【到達目標】写真通りのメイクアップに仕上げられるようになる				
28～30	後期メイク実技試験（コピートレーニング） 【到達目標】モデルさんの骨格や各パーツの配置、肌質を見極め、写真通りのメイクアップに仕上げられるようになる				
到達目標	お客様の要望に合わせたメイク技術を提供できるようになる ユニオン認定試験合格				
評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	プロフェッショナルメイクアップアーティスト公式テキスト				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	安東		
科目名	美容実習（メイクセラピー）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	36
教育目標・ ねらい	化粧品心理学、メイクセラピー的心理学、カウンセリング概論を理解する 「オーダー」された内容のメイクを施すことができる				
授業回	学習内容			備 考	
1	2級の復習			テキスト&メイク道 具一式は毎回持参	
2	2級の復習				
3	1級の内容とレベル説明（テキスト改訂版P4～9）				
4	カウンセリングについて学ぶ（テキストP10～20）				
5	カウンセリング実習（テキストP22～31）				
6	カウンセリング実習（テキスト事例演習）（3人組演習）				
7	メイク・カウンセリング実習（過去のオーダーより）				
8	筆記試験対策（テキスト練習問題） / 答え合わせ・解説				
9	筆記試験対策（論述問題） / 答え合わせ・解説				
10	メイク・カウンセリング実習（過去のオーダーより）				
11	模擬試験（実技）1グループ / フィードバック・復習				
12	模擬試験（実技）2グループ / フィードバック・復習				
13	模擬試験（筆記） / 答え合わせ・フィードバック				
14	メイク・カウンセリング実習（過去のオーダーより）				
15	メイク・カウンセリング実習（過去のオーダーより）				

16	筆記及び実技試験の総復習	
17	メイクセラピー検定 筆記（50分）全員	
18	メイクセラピー検定 実技（40分）1グループ・2グループ	
到達目標	メイクセラピー検定1級合格	
評価方法	授業態度、出席状況、ノート提出、模擬試験（実技・筆記）検定	
テキスト	メイクセラピー検定 1級テキスト	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は10年以上の美容部員の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う	

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野 齊藤		
科目名	美容実習（セット試験課題）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	ヘアセットを学びながら、ヘアメイクアップアーティストに必要な心構えや技術習得を目指す				
授業回	学習内容				備 考
1	イメージ分類 【到達目標】アイロンワークでイメージ分類することができる				
2	イメージ分類 【到達目標】ハーフアップでイメージ分類することができる				
3	イメージ分類 【到達目標】サイドアップでイメージ分類することができる				
4	イメージ分類 【到達目標】タイトロープ編みでイメージ分類することができる				
5	パーツ別イメージ分類 【到達目標】トップのデザインでイメージ分類できることを理解する				
6	パーツ別イメージ分類 【到達目標】サイドのデザインでイメージ分類できることを理解する				
7	パーツ別イメージ分類 【到達目標】おくれ毛のデザインでイメージ分類できることを理解する				
8	パーツ別イメージ分類 【到達目標】質感のデザインでイメージ分類できることを理解する				
9	パーツ別イメージ分類 【到達目標】前髪のデザインでイメージ分類できることを理解する				
10	オーダー別スタイル作成 【到達目標】スウィートタイプのデートヘアを作ることができる				
11	オーダー別スタイル作成 【到達目標】キュートタイプの成人式ヘアを作ることができる				
12	オーダー別スタイル作成 【到達目標】ガーリータイプのパーティヘアを作ることができる				
13	オーダー別スタイル作成 【到達目標】フェミニンタイプのウェディングヘアを作ることができる				
14	オーダー別スタイル作成 【到達目標】シックタイプの和装ヘアを作ることができる				
15	技術試験 【到達目標】☒オーダー沿ったヘアスタイルを作成することができる☒				
到達目標	4大女性像があることを理解し、お客様の希望に沿ったヘアスタイルを作成出来るようになる				

評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない
テキスト	配布資料
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野、唐沢		
科目名	美容実習（セット試験課題）	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	ヘアセットを学びながら、ヘアメイクアップアーティストに必要な心構えや技術習得を目指す				
授業回	学習内容				備 考
1～5	コピートレーニング面構成アップスタイル 【到達目標】見本の作品を見てブロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる				
6～10	コピートレーニングハーフアップスタイル 【到達目標】見本の作品を見てブロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる				
11～14	コピートレーニングカールアップスタイル 【到達目標】見本の作品を見てブロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる				
15	実技試験 【到達目標】見本の作品を見てブロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる				
到達目標	見本通りのスタイルが再現できるようになる				
評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	配布資料				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野、唐沢		
科目名	美容実習（セット相モデル実習）	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	18
教育目標・ ねらい	ウィッグではなく人に技術を施すことで、憧れだった職業を現実的に体感し、接客や技術力向上を目指す				
授業回	学習内容			備 考	
1	カウンセリング 【到達目標】お客様の要望を引き出すことができるようになる				
2~9	相モデル実習 【到達目標】お客様の要望を引き出し、それに応えられる技術提供ができる				
到達目標	モデルの要望を引き出し、それに応えられる技術提供ができる				
評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	配布資料				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	境、唐沢、星野		
科目名	美容実習（ジェルネイル中級）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	20
教育目標・ ねらい	ジェルネイル応用技術を習得し、ジェルネイル技術に深い関心を持たせる 人に喜んでもらえるようなジェルネイル技術の提供ができるようになる				
授業回	学習内容			備 考	
1～10	タイムトライアル 【到達目標】時間を意識し、時間内に美しく仕上げることができるようになる				
11～15	実技模擬試験 【到達目標】時間内に技術手順を施すことができる				
16・17	実技模擬試験 【到達目標】時間内に正確かつ美しく仕上げることができる				
18	実技試験				
19・20	ネイル技能検定対策 【到達目標】ジェルネイル検定中級受験の準備と心構えができる				
到達目標	ジェルイクステンションという応用技術ができるようになる グラデーションやフレンチカラーができるようになる ジェルネイル検定試験中級合格				
評価方法	期末実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は 評価対象としない				
テキスト	JNAテクニカルベーシック				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力 となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティーアーティスト科	担当教員	渡辺、唐沢		
科目名	美容実習（着付）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間(単 位)	60
教育目標・ ねらい	(1) 着物を通し、日本文化に触れるとともに、立居振る舞いを学ぶ (2) 着付け必要な道具の名称、着物の名称、準備の仕方を習得する (3) 着付の基礎知識及び基礎技術を学ぶ				
授業回	学習内容			備 考	
1	街着 ・着付け概要 【到達目標】小物の名称・着物の各部の名称、準備の仕方・着物のたたみ方、長襦袢のたたみ方が出来るようになる				
2～5	街着 ・補整～長襦袢 【到達目標】補整の仕方、長襦袢の着付を理解する				
6～9	街着 ・着物の着付、帯 【到達目標】着物の着付と帯を結べるようになる				
10～13	街着 ・補整～帯まで 【到達目標】補整から帯まで仕上げることが出来るようになる				
14・15	街着 ・実技試験 【到達目標】補整から帯まで時間内に仕上げることが出来るようになる				
到達目標	(1) 小物の名称、着物・帯の各部の名称が理解できる (2) 長じゅばん、着物が正しくたためる (3) 浴衣・街着を、教員指導のもとに人に着せることができる				
評価方法	各期筆記試験（小物の名称、着物・帯の各部の名称、着物・長じゅばんのたたみ方等）及び実技試験（浴衣、街着、振袖）それぞれ100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	配布資料				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				
学科	ビューティーアーティスト科	担当教員	唐沢		

科目名	美容実習 (まつ毛エクステンション)	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	46
教育目標・ ねらい	まつ毛エクステンションの技術に触れ、アイリストとしての将来像も視野に入れ、将来の可能性を伸ばす				
授業回	学習内容			備 考	
1	まつ毛エクステンション概論、道具について 【到達目標】道具の使い方、セッティングを理解する				
2	グルー 【到達目標】グルーを安全に使用するための知識と装着方法を学び、実際に装着してみる				
3	装着① 【到達目標】まつ毛に人工毛をつけることができる				
4	装着② 【到達目標】まつ毛に人工毛をつけることができる				
5	装着③ 【到達目標】まつ毛に人工毛をつけることができる				
6	テーピング 【到達目標】安全にテーピング技術をするための知識を学び、実際にテーピングを施す				
7	テーピング 【到達目標】目に入らないようにテーピングすることができるようになる				
8	リムービング 【到達目標】安全にリムービングをするための知識を学び、実際にリムービングを施す				
9	試験課題① 【到達目標】リムービングから装着まで一連の流れを理解する				
10	試験課題② 【到達目標】時間を意識してリムービングから装着まで一連の流れを施術することができる				
11	試験課題③ 【到達目標】時間内に試験課題を終わらすことができる				
12~21	試験課題④ 【到達目標】時間内に試験課題を終わらし、合格レベルに仕上げることができる				
22・23	実技試験 【到達目標】道具を安全に使用し、まつ毛1本に人工毛を正しい向きに装着することができる				
到達目標	道具を安全に使用し、まつ毛1本に人工毛を正しい向きに装着することができる				

評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の4/5)を下回る学生は受験することができない
テキスト	まつ毛エクステンション
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	唐沢・境		
科目名	高度実習（ネイルコース）	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	選択必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ ねらい	検定受験に必要な技術を学び、ネイルの興味関心を深める				
授業回	学習内容			備 考	
1～10	ネイル検定1級 【到達目標】 ネイル検定1級合格に必要な技術が出来るようになる				
11～20	ネイル検定1級 【到達目標】 ネイル検定上級合格に必要な技術が出来るようになる				
到達目標	ネイル業界における上級検定に挑戦し、卒業後すぐに活躍できるように知識・技術を高める				
評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野		
科目名	高度実習（ヘアメイクコース）	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	選択必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ ねらい	実践を通し、応用力を身につける コンテスト出品を目指し、創作意欲を向上させる				
授業回	学習内容			備 考	
1～5	ヘアカラーリング 【到達目標】 カラーリングの選定方法、ブリーチ技法、ホイルワークを学び、ヘアスタイルをデザインすることが出来るようになる				
6～15	コンテスト作品制作 【到達目標】 ヘアスタイル、メイク、ファッションのバランスを考え、イメージを形にすることが出来るようになる				
16～20	サロンワークトレーニング 【到達目標】 アシスタントの仕事を知り、現場ですぐに行動できるようになる				
到達目標	イメージをカタチにできる技術力、表現力を身に付ける 卒業後、即戦力となれるような知識・技術を身に付ける				
評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	岩崎		
科目名	国家試験必須科目（衛生管理）	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	20
教育目標・ ねらい	衛生管理について学ぶ				
授業回	学習内容			備 考	
1	感染症総論 【到達目標】①研究者の歴史(人名と業績)②感染症の分類(法律上、病原体別、侵入経路など)				
2	微生物の構造 【到達目標】①形や大きさ、細菌の図解による説明(芽胞含む) ②微生物の増殖や好む環境について知る				
3	感染の予防 【到達目標】①病原性、毒素、変異について学ぶ ②汚染、感染及び発病について学ぶ(特に各種感染)				
4	感染症発生の要因 【到達目標】感染源、感染経路、宿主の感受性について詳しく学ぶ				
5	感染症各論 【到達目標】各種感染症の特徴や主症状を覚える				
6	消毒法1 【到達目標】①消毒に関連する法の規定 ②消毒の重要性と怠った場合の危険性について学ぶ				
7	消毒法2 【到達目標】①消毒(殺菌)に必要な条件を知る ②病原微生物の抵抗力について学ぶ				
8	理学的消毒法 【到達目標】紫外線、煮沸、蒸気による消毒法各論と、その他の理学的消毒法				
9	化学的消毒法1 【到達目標】アルコール、次亜塩素酸ナトリウム、界面活性剤による消毒法各論(特に長所・短所)について学ぶ				
10	化学的消毒法2 【到達目標】①グルコン酸クロルヘキシジンその他の消毒薬について学ぶ ②器具の使い方と濃度計算の方法について学ぶ				
到達目標	衛生管理を理解し、感染から自分自身やお客様を守ることができるようになる。				
評価方法	各期筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない				
テキスト	衛生管理 1・2(日本理容美容教育センター)				
学科	ビューティアーティスト科	担当教員	木村		

科目名	国家試験必須科目(保健)	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	16
教育目標・ ねらい	保健(皮膚科学)の基礎知識を得るとともに、職場で使えるようになる				
授業回	学習内容				備 考
1・2	(1) 皮膚の構造の主な名称や働きを学ぶ (2) 皮膚付属器官の構造の主な名称や働きを学ぶ (3) 皮膚の循環器系と神経系の働きを学ぶ				
3	皮膚と付属器官の生理機能を学ぶ				
4	皮膚と付属器官の保健を学ぶ				
5	(1) 皮膚と付属器官の疾患を学ぶ (2) 皮膚科学全般を復習する				
6	人体、皮膚科学の重要点を整理する				
7・8	国家試験の過去の出題を分析・解説する				
到達目標	美容師・皮膚の専門家としての知識を身につける 国家試験を知る				
評価方法	各期筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない				
テキスト	保健(日本理容美容教育センター)				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	村田		
科目名	国家試験必須科目(化粧品化学)	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	化粧品やヘアケア剤の成分を学び、将来ヘアメイクアップアーティストやネイリストとして働くときに有効な知識を習得する				
授業回	学習内容			備 考	
1	(1) 化粧品概論の講義 法律や規制について (2) 化粧品の取り扱い 安全性について				
2	化粧品の種類、性状 皮膚 頭皮について				
3	(1)水溶性原料 油性原料について (2) 界面活性剤 高分子化合物について				
4	化粧品の全般の要約・国家試験対策				
5	国家試験対策				
到達目標	国家試験合格				
評価方法	各単元毎で確認テストを実施し、総合結果を100点満点で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	日本化粧品検定公式テキスト 化粧品化学教科書				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野・今野		
科目名	国家試験必須科目(文化論)	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	人の歴史の最古から美容がどう関わってきたのかを学び、今を知り美容への関心を深める				
授業回	学習内容			備 考	
1	ファッション文化史 日本編 【到達目標】日本の歴史の中で美容がどの様に関わってきたのかを理解する				
2	ファッション文化史 西洋編 【到達目標】日本の歴史の中で美容がどの様に関わってきたのかを理解する				
3	礼装について 【到達目標】礼装の種類を理解する				
到達目標	歴史の中で美容がどう関わってきたのかを学び、今を知り美容への関心を深める 国家試験合格				
評価方法	各小テスト合計60点及び確認テストの合計100点満点で評価する。 なお、所定時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない。				
テキスト	(日本理容美容教育センター)文化論				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	今野		
科目名	国家試験必須科目(運営管理)	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	経営者、従業員それぞれの立場からの視点を学び、視野を広げ将来の働き方のヒントにする				
授業回	学習内容				備 考
1	接客、経営戦略 【到達目標】経営者の視点を持つことができるようになる				
2	人という資源、給与、福利厚生 【到達目標】従業員としての視点を理解する				
3	顧客 【到達目標】顧客が求める価値観やサービスにおける人の役割を理解する				
到達目標	経営者の視点に立ち仕事を担う責任を理解する 国家試験合格				
評価方法	各小テスト合計60点及び確認テストの合計100点満点で評価する。 なお、所定時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない。				
テキスト	(日本理容美容教育センター)運営管理				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	今野・星野		
科目名	国家試験必須科目(美容技術理論)	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	12
教育目標・ ねらい	美容技術の基礎知識を学習し、安全に施術を行うための知識を深める				
授業回	学習内容			備 考	
1	技術理論概要 【到達目標】美容技術に必要な道具の種類、名称、用途を理解する				
2	カット理論 【到達目標】カット技術の種類、手法を理解する				
3	カラー理論 【到達目標】カラー技術に必要な薬剤の知識、カラー技法を理解する				
4	パーマ理論 【到達目標】カラー技術に必要な薬剤の知識、カラー技法を理解する				
5	日本髪理論 【到達目標】日本髪の髪型の種類、技術に必要な道具を理解する				
6	エステ理論 【到達目標】エステ手技の種類、技法を理解する				
到達目標	美容技術全般における正しい知識を身に付け、美容への関心を深める 国家試験合格				
評価方法	各小テスト合計60点及び確認テストの合計100点満点で評価する。 なお、所定時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない。				
テキスト	(日本理容美容教育センター)美容技術理論				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	今野・星野・唐沢		
科目名	国家試験課題（カット）	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ ねらい	美容技術理論の基礎とともに、技術内容ともあわせて理解することが出来るようにする。				
授業回	学習内容			備 考	
1	カッティング概要 【到達目標】 正しい道具の持ち方や使用方法、正しい作業姿勢を理解する				
2～5	ブロッキング 【到達目標】 カッティングの施術を正確に容易にするために、正しいスライスで毛髪を分け、頭部をいくつかに分けるブロッキング技術を理解する				
6～10	カッティング基礎技術（ワンレングス） 【到達目標】 ワンレングスカットの特徴である同一線上のカットラインを表現できるようになる				
11～15	カッティング基礎技術（セიმレイヤー） 【到達目標】 セიმレイヤーカットの特長である全ての毛髪が同じ長さで切り揃えられることが出来るようになる				
16～20	カッティング国家試験課題 【到達目標】 国家試験課題の構成を理解する				
21～60	カッティング国家試験課題（タイム20分） 【到達目標】 国家試験合格レベルで仕上げることが出来る				
到達目標	国家試験課題であるカッティングにおける正確な技術を身に付け、美容技術の幅を広げる卒業時に国家試験合格レベル				
評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	「美容技術理論1」「美容実習1」				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	今野・星野・唐沢		
科目名	国家試験課題（オールウェーブ）	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ ねらい	美容技術理論の基礎とともに、技術内容ともあわせて理解することが出来るようにする。				
授業回	学習内容			備 考	
1	オールウェーブ概要 【到達目標】 正しい道具の持ち方や使用方法、正しい作業姿勢を理解する				
2～10	フィンガーウェーブ 【到達目標】 オールウェーブの施術に必要なフィンガーウェーブをつくれるようになる				
11～20	ピンカール 【到達目標】 オールウェーブの施術に必要なフィンガーウェーブをつくれるようになる				
20～30	オールウェーブ国家試験課題 【到達目標】 国家試験課題の構成を理解する				
31～60	オールウェーブ国家試験課題（タイム25分） 【到達目標】 国家試験合格レベルで仕上げることが出来る				
到達目標	国家試験課題であるオールウェーブにおける正確な技術を身に着け、美容技術の幅を広げる 卒業時に国家試験合格レベル				
評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	「美容技術理論1」「美容実習1」				

学科	ビューティアーティスト学科	担当教員	星野・唐沢		
科目名	ビジネスマインド	学 年	2年	実施時期	前期・後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	45
教育目標・ ねらい	どのような心構えで社会に出発すればよいのかを考え、社会に出る準備をする				
授業回	学習内容			備 考	
1	入学式 年間の節目合わせ新たに心構えをし、TPOをわきまえた服装で出席する				
2	就職活動について				
3	キャリアビジョンシート作成				
4	履歴書の書き方、求人票の見方				
5	面接の基本、面接の注意事項				
6	Beauty World Japan見学 最新の情報集と共に業界理解を深めるためのイベント見学				
7	電話のかけ方				
8	面接の実践				
9	コンテスト見学 業界理解と学習意欲向上のためのコンテスト見学				
10	芸術鑑賞（劇団四季） ・舞台鑑賞を通し、舞台メイクのテクニックや舞台構成を学び、豊かな感性を養う、 ・芸術鑑賞の際のマナーを習得する				
11	働く心構え				
12	大掃除 長期休暇前は使用した場所を綺麗にし、新たな気持ちで新学期を迎えられる 環境を自分たちでつくることのできる				
13	前期終業式 年間の節目合わせ新たに心構えをし、TPOをわきまえた服装で出席する				
14	後期始業式 年間の節目合わせ新たに心構えをし、TPOをわきまえた服装で出席する				
15	防災館見学 災害時における避難体験や防災体験をし、災害時の判断力を養う				

授業回	学習内容	備考
16	防災訓練 防災、災害に対する意識を高め、災害時に安心・安全に移動することができるようになる	
17	スポーツ大会 スポーツを通し心身を豊かにすると共に、団結力及び協調性を身に付ける	
18	ファッションショー見学 他校のファッションショーを見学することで、刺激を受け美翔祭や今後の授業に役立てることができる	
19	大掃除 長期休暇前は使用した場所を綺麗にし、新たな気持ちで新学期を迎えられる環境を自分たちでつくることのできる	
20	社会保障と税金	
21	働くということ給与明細の見方	
22	名刺の頂き方	
23	終業式・卒業式 年間の節目合わせ新たに心構えをし、TPOをわきまえた服装で出席する	
到達目標	将来について考え、5年後のキャリアビジョンを作成し、面接で説明することが出来る	
評価方法	各単元のレポート・課題提出により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない	
テキスト	プリント ビジネス能力検定テキスト	

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野 唐沢		
科目名	情報処理	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	8
教育目標・ ねらい	社会で必要とされる情報活用能力を習得。 PCスキルアップ (Word、Excel、Powerpoint、HP制作)。クラウド活用とプレゼン能力の向上				
授業回	学習内容			備 考	
1	メディアリテラシー、情報を取捨選択、各メディアの特性を理解、情報活用能力の向上を図る				
2	グループディスカッション「テーマ：社会問題」 オズボーンのチェックリスト、ブレインストーミングとKJ法、グループ発表まで				
3	マーケティングと広告 (継続して儲ける仕組みとは) 4P、3C、STP、ヒット商品の紹介と解説				
4	広告制作物の基礎知識、デザイン・レイアウト、書体やフォントの使い方、グラフの使い方等、効果的なプレゼンテーションとは				
到達目標	①情報活用能力 ②PCスキル ③伝える力 ④問題解決力 ①～④を習得				
評価方法	各単元毎で確認テストを実施し、総合結果を100点満点で評価する。なお、所定授業時数 (全体の2/3) を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	配布資料 (A4) 毎回前日にメール送信予定				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	柳井		
科目名	表現技術（顧客心理学）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	講義・演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	接客するために必要な「商品・サービスの商品属性研究」「ニーズの創造」 スムーズな接客ができるようになる				
授業回	学習内容			備 考	
1	接客心理検定とは 第3章接客コミュニケーションテクニック ・ポジティブハロー・初頭効果 ・単純接触の原理・親近効果 【ワーク】自己紹介			P52～P58	
2	第3章接客コミュニケーションテクニック ・一面提示・両面提示 ・OATH理論 ・マズロー欲求段階説 【ワーク】欲求のワーク			P59～P68	
3	第3章接客コミュニケーションテクニック ・コントラスト ・アンカリング ・コミットメント 【ワーク】コミットメント)			P69～P78	
4	第3章接客コミュニケーションテクニック ・接客距離・笑顔の硬化 ・返報性・時間の共感・記憶 ・カクテルパーティ効果 【ワーク】 パーソナルスペース・聴く技術（態度、繰り返し、促し）			P79～P87	
5	第3章接客コミュニケーションテクニック ・カタルシス・フットインザドア ・ドアインザフェイス ・親和性を高める 【ワーク】 恋愛のメカニズム感情のメカニズム・セルフイメージミッション ビジョン			P88～P93	
6	第3章接客コミュニケーションテクニック ・アップセル・ダウンセル・クロスセル ・希少性の原理 ・空間心理・色彩心理 【ワーク】 質問する技術・聴く技術（要約）			P94～P106	
7	第3章接客コミュニケーションテクニック ・自己成熟・認知的不調和 ・ボディランゲージ 【ワーク】 良い接客・悪い接客・聴く技術（共感）スキーマボードの作成			P107～P119	
8	第1章 商品属性の研究 ・属性名と属性値 ・属性値の決定 ・トレンド便乗の方法 【ワーク】 商品の属性値を考える・聴く技術(共感)スキーマボードの作成			P2～P16	

授業回	学習内容	備考
9	第1章 商品属性の研究 ・属性値を購買プロセスに組み込む ・認知スキーマ(スキーマボード) ・記憶 【ワーク】スキーマボードの作成・聴く技術(承認)	P17~P26
10	第1章 商品属性の研究 AIDMA法則・認知スキーマ・バーナムフォアラール効果 【ワーク】スキーマボード作成	P27~P33
11	第2章 情報とコミュニケーション ・正しい言葉遣い ・情報とコミュニケーション ・談話能力 ・練習問題(過去問題)、解説 【ワーク】スキーマボード作成・ページング	P36~P43
12	第2章 情報とコミュニケーション ・社会言語能力 ・方略的言語能力 ・練習問題(過去問題)、解説 【ワーク】スキーマボード作成/商品プレゼンテーション	P44~P50
13	試験対策① 筆記練習問題(過去問題①)、解説 ・実技試験対策①	—
14	試験対策② 筆記練習問題(過去問題②)、解説 ・実技試験対策②	—
15	接客心理検定 準2級試験日	—
到達目標	接客心理検定準2級合格	
評価方法	期末筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない	
テキスト	接客心理検定 3級テキスト	

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	石井		
科目名	ファッション学	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	作品のテーマを深く理解し、テーマに沿った表現が出来るようになる				
授業回	学習内容			備 考	
1	作品テーマの背景を考える 【到達目標】 テーマの背景をより深く考え、作品テーマの落とし込み が出来るようになる				
2～5	作品制作・撮影 【到達目標】 テーマに沿った作品を創作し表現することが出来るよう になる				
到達目標	テーマに沿った表現方法を学ぶことで、卒業後ヘアメイクの現場に出たときに必要となる 技術力を養う				
評価方法	課題作品により評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象とし ない				
テキスト	配布資料				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：担当教員は勤務先美容サロンで培ったSNSでの情報発信等に活用 できる色彩構成、ファッションコーディネート等に関する最新の知識等を踏まえ、ヘア、メイク、 ファッションのトータルコーディネートの方法について指導する				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	REINA		
科目名	ファッション学（アニマルメイク）	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	18
教育目標・ ねらい	特殊メイクを学び、技術の幅を広げ、表現力を向上させる				
授業回	学習内容			備 考	
1	企画 【到達目標】モデルの顔に似合う動物を決める				
2	作品制作① 【到達目標】自身で企画した動物メイクを仕上げる				
3	作品制作① 【到達目標】前回の作品をふり返り、前回よりブラッシュアップした動物メイクを仕上げる				
4	作品撮影 【到達目標】フォトコンテストに出展する作品を仕上げる				
5	企画 【到達目標】モデルの顔に似合う動物を決める				
6	作品制作① 【到達目標】自身で企画した動物メイクを仕上げる				
7	作品制作① 【到達目標】前回の作品をふり返り、前回よりブラッシュアップした動物メイクを仕上げる				
8	作品撮影 【到達目標】フォトコンテストに出展する作品を仕上げる				
到達目標	色々なメイクの手法を学び、作品制作に投影させ、フォトコンテストに出展させる				
評価方法	課題作品により評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	配布資料				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：担当教員は自ら主宰する美容サロンでの実績に加え、各種メディアでのグラビア、化粧品会社の広告宣伝等におけるメイクアップの経験により培った特殊メイク、ボディペイント等に関する高度な知識と技術を伝える				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	近田		
科目名	ファッション学（トレンドメイク）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	4
教育目標・ ねらい	メイクのトレンドや旬なコスメ情報を学び、メイクの引き出しと表現力の幅を広げる。デモストレーションや資料を見ながらトレンド情報を発信。季節の肌作りからメイクバランスを理解し、メイクアップで表現出来るようになる。				
授業回	学習内容			備 考	
1	メイクトレンド①（サマー）				
2	メイクトレンド②（AW）				
3	メイクトレンド③（SS）				
到達目標	メイクの流行を理解する事と、トレンドメイクバランスの習得しメイクアップで表現出来るようになる。				
評価方法	課題作品により評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	配布資料				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：担当教員は15年以上の化粧品会社専属メイクアップアーティストとしての経験を活かし、個性を引き立て、なりたいイメージに合わせたメイク提案と、施術者自身で再現できるメイクアップ方法についての授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野、唐沢		
科目名	ファッション学 (美翔祭【ヘアショー準備】)	学 年	2年	実施時期	前期・後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	75
教育目標・ ねらい	テーマに合わせた色や形、質感など細部にこだわった表現技法を学び、ヘアショーで表現する				
授業回	学習内容			備 考	
1・2	テーマ決定 ・テーマ背景をクラス全員で理解する ・テーマに対し、全員が同じ解釈であること ・世界観を固める				
3・4	モデル選出 ・モデルはウォーキング練習開始 ステージ構成決定 (モデルウォーキング台本、音楽、照明)				
5・6	ヘア・メイク・ネイル・衣装デザイン画作成～提出				
7～10	ヘア・メイク・ネイル・衣装作成開始				
10～12	美翔祭りハーサル①				
13～15	美翔祭りハーサル②				
16～18	美翔祭りハーサル③				
19～21	美翔祭りハーサル④				
22～24	モデルスチール撮影				
25～27	美翔祭ゲネプロ (本番と同様、照明付き)				
28～30	美翔祭本番				
到達目標	ヘアショーを通し、魅せる技術の習得及び、テーマに合わせた色や形、質感など細部にこだわった表現技法を習得する				
評価方法	課題作品により評価する。なお、所定授業時数 (全体の2/3) を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野、唐沢		
科目名	ホームルーム	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	講義/演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	学校生活における学習イメージをつけ、有意義な学校生活を送ることができるようになる				
授業回	学習内容			備 考	
1	2年次年間スケジュールの確認				
2	4月クラス目標、個人目標設定				
3	5月クラス目標、個人目標設定				
4	6月クラス目標、個人目標設定				
5	7月クラス目標、個人目標設定				
6	LHR 夏休み前長期休暇の過ごし方				
7	8月クラス目標、個人目標設定				
8	9月クラス目標、個人目標設定				
9	10月クラス目標、個人目標設定				
10	11月クラス目標、個人目標設定				
11	12月クラス目標、個人目標設定				
12	LHR 冬休み前長期休暇の過ごし方				
13	1月クラス目標、個人目標設定				
14	2月クラス目標、個人目標設定				
15	3月クラス目標、個人目標設定				
到達目標	自身で立てた目標に対し、計画性を持って実行できるようになる				
評価方法	提出課題により評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	プリント				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野、唐沢		
科目名	学内コンテスト（匠すと）	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	15
教育目標・ ねらい	1年間、もしくは2年間学んできた技術を作品に落とし込み、自身の表現したいものが創れるようになる				
授業回	学習内容				備 考
1~15	匠すと 【到達目標】 1年間、もしくは2年間学んできた技術を作品に落とし込み、自身の表現したいものが創れるようになる				
到達目標	授業で学んできた技術の中から得意な技術を探求し、作品で表現することが出来るようになる				
評価方法	課題作品により評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				